

## 2011年1月: JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項 目	記 載 内 容
誌上发表(原著論文)		
	著者名	Hajime Kojima, Masahiro Takeyoshi, Takashi Sozu, Takumi Awogi, Kazunori Arima, Kenji Idehara, Yoshiaki Ikarashi, Yukiko Kanazawa, Eiji Maki, Takashi Omori, Atsuko Yuasa and Isao Yoshimura
	論文題名	Inter-laboratory validation of the modified murine local lymph node assay based on 5-bromo-2'-deoxyuridine incorporation
	雑誌名、巻(号)、ページ、年	J. Appl. Toxicol. 31: 63-74 (2011)
国内学会		
	発表者名	小島 肇
	演題名	培養皮膚モデルを用いた皮膚刺激性評価の現状
	学会名、発表年月及び場所	第10回ヒューマンサイエンス研究資源バンクセミナー「培養細胞を利用した創薬研究」、2011.1、千里ライフサイエンスセンター、大阪
レギュラトリーサイエンス関連国際会議報告		
	参加者名	小島 肇
	会議名	財団法人 産業技術総合研究所 化学物質評価用発光細胞の標準化推進調査委員会 欧州調査会議
	開催場所、年月	イスプラ、イタリア、2011年1月17日およびベルリン、ドイツ、2011年1月19日
	会議内容	産業技術総合研究所で開発されている化学物質評価用発光細胞を用いた技術に関して、欧州の代替法専門家の意見を伺う目的で、ECVAM(欧州代替法バリデーションセンター)およびZEBET(ドイツ代替法バリデーションセンター)を訪問し、その技術を説明するとともに、今後の共同研究も視野に意見交換を行った。